



“お互いに熱い戦いをありがとう”ハンド・クロス 走りきれ 限界突破！！ ～5/15（土）いちょう大運動会を振り返って～

コロナ禍の中における、借り物ではない「本物」のいちょう大運動会。実行委員長の渡邊和也さんがあいさつで述べた「やっている側も、見ている側も、マスクの下に笑顔あふれる一日」になりました。もちろん、力の限り競い合ったわけですから、悔し涙もありましたし、嬉し涙もありました。大会タイ記録も生まれました。結果は、白組が優勝、応援賞は赤組となりましたが、お互いに「熱い戦いをありがとう」と両組頭がハンドクロスをして、健闘を讃え合いました。

眩しく輝く太陽の下、懸命に走り切る姿・本気で向かう姿・リズムに乗って踊る姿に目頭が熱くなったのは、私だけではなかったと思います。ご声援をいただいた奨学会、ご家族の皆様にご心から感謝申し上げます。コロナ感染防止対策に係る、ご家族内同時に2名までの「入校証メダル」着用のご協力もありがとうございました。

いちょう大運動会 児童代表あいさつ

運動会実行委員長・6年渡邊和也さん

全校生のみなさん、今日はとても楽しみにしてきた運動会です。今年のスローガンは「勝利のゴールに向かって走りきれ、限界突破！」です。このスローガンに、「全員が本気で運動会に取り組むと自分がこれまでできなかったことができるようになるのではないか」という思いを込めています。これまで、3年間実行委員をやってきましたが、今年は今まで以上に満足のできるものになるように取り組んできました。今日の運動会は、四小にとっては110周年記念、たいよう学年にとっては、四小で最後の運動会です。実行委員、応援団、アナウンスディレクター、用具、シンボルマーク、ダンスリーダー、上学年種目、グラウンドキーパーのそれぞれの係で、放課後ギリギリまで残って仕事をやってきました。今年も新型コロナウイルスの影響で、できることが限られています。そんな中でも、みんなでアイデアを出し合って、一生懸命考えて、手直しして、また直して、よりよい運動会にしようと頑張ってきました。

ぼくは、この運動会が終わった時に、たくさんの方がスローガンに近づいている運動会にしたいです。新型コロナウイルスでマスクをしていても、やっている側も、見ている側も、マスクの下に笑顔あふれる一日にしたいです。

今日は、全校生のみなさんで、110周年記念の運動会を成功させましょう。応援に来て下さったお家のみなさん、今日は応援よろしくお願いします。



＜開会式 あいさつ

大会会長（学校長）＞

創立 110 周年である 2021 年春、第四小のシンボルである「大いちょう」が見守ってくれる中で、皆さんと共に「大運動会」を開催できますこと、何よりの喜びです。

「勝利のゴールに向かって走りきれ 限界突破！！」のスローガンのもと、たいよう学年 6 年生が先頭に立ち、いちょうの子 196 名が、一人ひとりの役割を持ち、責任をしっかりと背負い、ねばり強く取り組んできました。

思う存分、力を出し切って、協力し合って、勝利をつかんでほしいと願います。大いに期待しています。

奨学会の皆様、ご家族の皆様、本日は早朝より、ありがとうございます。ご来賓や地域の皆様をご案内できませんでしたが、ここに集う皆様と共に、コロナ禍を乗り越えてゆく「大運動会」になればと思います。いちょうの子どもたちへの温かい眼差しとご声援をお願いしまして、あいさつといたします。

＜閉会式 講評

大会会長（学校長）＞

熱い戦いをありがとう。この素晴らしい「時」が過ぎてゆくのをさびしく思います。

ここに集う、第四小学校の一人ひとり、そして、見守ってくださった皆さん一人ひとりの心に、たくさんの思い出を残し、今年の「いちょう大運動会」がおわろうとしています。

今は、グラウンドに響いた「あの力強い応援」や「力の限り仲間を励まし続けた太鼓の音」、そして「見守ってくださった方々の心の歓声」は聞こえませんが、でも、全力を出し切ったからこそ感じる心地よい風が吹いています。競い合う仲間・よきライバルがいたからこそ、全力を出し切ることができた。このすばらしい「時」を一緒に過ごせたことを幸せに思います。

6 年生たいよう学年にとっては、本校最後の大運動会となりました。たいよう学年のみなさん、よく、みんなをリードしてくれました。実行委員を中心に、一人ひとりが背中に責任を背負い、「本気の姿・団結の姿」を見せてくれました。たいよう学年のみなさん立ちましょう。大きな、大きな拍手を贈りたいと思います。

また、6 年生のリードにしっかりついて、力を出しきった 5 年生から 1 年生までのみなさんも、ほんとうによく頑張りました。皆さんにも、大きな、大きな拍手を贈りたいと思います。

今年も、コロナ禍による様々な制限の中のチャレンジとなりました。創立 110 周年という節目にした、この貴重な体験は、21 世紀を生き抜いていく「みなさん」にとって、必ずや生きて働く力となることでしょう。

この経験を大きな自信にして、よりよい第四小をめざして、努力してゆきましょう。

最後に、温かいご声援を送って下さった保護者、そして、ご家族の皆様、今年もご案内が叶いませんでしたご来賓、地域の方々にも心から感謝を申し上げ、講評といたします。